

年 組 名前：

問1

にらさきし さいたまのりさいくるとんぎょうなどを
てが ぎぎょう 手掛ける企業は、どのような
ポリ袋を開発しましたか。

.....
.....
.....

問2

ポリ袋が強度不足にならない
ように、どのような作業を
おこな 行っていますか。

.....
.....
.....

問3

どうしゃ あさかわ しやうらいてき
同社の浅川さんは、将来的に
どのようにしていきたいと
はな 話していますか。

.....
.....

使用済みフィルム ポリ袋に100%再生



韮崎・国土興産 脱炭素図る

リサイクル業などの国土興産（韮崎市小田川、浅川新社長）が、使用済みポリエチレンフィルムを100%使用したポリ袋を開発した。「使用済みフィルムを100%使用したポリ袋は珍しい」（同社）といい、2023年度のやまなし産業大賞で、優秀賞に選ばれた。

〈渡辺真紗美〉

同社によると、運送会社ではパレット上の荷物が崩れないよう、ポリエチレンフィルムでまいてフォークリフトに載せており、大量のフィルムが排出される。使用済みフィルムから荷札のシールなどをはがして分別されたものを運送会社から買い取り、フィルムでまいてポリエチレンフィルムでポリ袋を製造する機械

「北杜市高根町下黒沢」
使用済みフィルムを100%使ったポリ袋の多くは、商品を作る過程で生じた規格外品などを再加工しており、使用済みのフィルムを100%使ったポリ袋は珍しい」と話している。
袋の厚みは0.03ミリ。1枚当たりのCO2削減量は、45リットル袋で0.11キロ、70リットル袋で0.13キロ、90リットル袋で0.16キロになるといふ。

ムを樹脂ベレットに加工し、ポリ袋を製造している。荷札シールや紙くずの混入はポリ袋の強度不足につながる。油性ペンで字が書かれた部分の混入は透明度の低下につながる。手作業で確認しながら除去している。担当者は「リサイクル素材を100%使ったポリ袋の多くは、商品を作る過程で生じた規格外品などを再加工しており、使用済みのフィルムを100%使ったポリ袋は珍しい」と話している。

(2023年12月19日付 山梨日日新聞7面)

会社で分別してもらおうことで、資源として買い取って先方の収益にすることができ。将来的には他のポリエチレンフィルム以外の再利用にも取り組み、脱炭素社会の実現につなげたい」と話している。